

パネル展
原発事故14年
福島「避難」のかたち
関連企画



井上美和子さん

文筆朗読家。福島県浪江町生まれ。2011年3月12日に当時2歳と4歳の子供を車に乗せ、南相馬市の自宅を離れ現在は京都府に避難中。

2019年秋に井上美和子作・朗読「ほんじもよお語り」を京都で初演。以来、東京・熊本・岡山・仙台・長野・福島他全国各地で上演。

代表作「豆を煮る」「紅梅の木」「告白」「あたりまえ」他。

2022年ギャラクシー賞奨励賞受賞の関西テレビ制作番組「ザ・ドキュメント〜もやい福島に吹く風〜」でナレーションを担当。

井上美和子朗読劇

ほんじもよお語り

「ほんじもよお」とは、朗読劇を演じる井上美和子さんが生まれ育った福島県浪江町の山あいの方言で、「そうは言ってもよ」の意です。福島の大地が未曾有の原発事故に見舞われて14年。同県南相馬市から京都府綾部市に避難した井上さんが、生まれ故郷を失った悲しみや切なさ、泣き笑いの情感を温かなふるさとの言葉に乗せて語りかけます。

原発事故に襲われた

ふるさとの言葉で演じる

観覧
無料

2025.3.22 土 14:00 開演

クラフトビレッジ西小山

(東京都目黒区原町1-7-8) 東急目黒線西小山駅徒歩1分



申し込みは
こちらから
当日観覧も歓迎